

「魅力ある職場づくり」推進に向けた各企業の取組

R5.10.19

株式会社 福島中央テレビ 様

会社概要

事業内容 テレビ局 情報通信業
所在地 福島県郡山市



当社の働き方改革の主な取組

○時間外労働削減の取組み

報道機関であるため、社員の勤務時間がどうしても不規則になりがちであったが、社員のワークライフバランスの実現のため「働き方改革推進本部」を設置、業務量の多い部署の管理職を集めたミーティングを毎月開催し、問題点にかかる対応を図ることにより、2019年度には総時間外労働が約1割減少し現在もその水準を維持している。

○年次有給休暇の取得促進

上記の管理職によるミーティングの中で、社員一人一人の年次有給休暇取得状況を共有し、取得が進んでいない社員に対しては、積極的に取得するよう働きかけるほか、社内イントラネットを通じて該当者に取得を呼び掛けている。その取組みにより、社員の平均有給休暇取得日数は2022年度で12.03日にまで伸ばすことができています。

○男性社員の育児休業取得促進

2021年に男性社員の育児参加を促す「中テレ育パパサポート奨励金」という独自制度を創設（配偶者の出産日から8週間以内に連続14日以上取得した男性社員に10万円を支給）、また、今年から扶養家族手当の子ども分を増額（2万円⇒2万2千円）。出産祝金も、従来1人につき2万円だったものを、第一子が5万円、第二子7万円、第三子10万円と大幅な増額を行い、手厚いサポートを行っている。

また、男性の育児休業を促進するため「中テレ育パパ通信」を社員向けに発刊、制度の詳細をわかりやすい説明を加え連載しているほか、育児休業を取得した男性社員の体験談などを掲載、社内全体に育児休業を取りやすい雰囲気構築している。

こうした取組が功を奏し、2022年に「くるみん認定」を受けており、同年の男性育児休業取得者は3名（取得率42%）であったが、今年2023年には、更に5名が取得する予定で、取得率は75%となり、益々働きやすい職場風土を創造している。

男性の育児休業取得促進のため、社員向けに「中テレ育パパ通信」を発行。制度の詳細をわかりやすく紙面で説明、また育児休業を取得した男性社員の声などを紹介している。



左上から大野人事担当部長、丸経営企画局長、山中総務担当部長
左下から長根商工労働部政策監、尾崎代表取締役社長、井口局長

